

## 自己評価結果公表シート（令和4年度）

学校法人若竹学園千里幼稚園

### 1. 本園の教育目標

子どもたちがしっかりと、正しく、まっすぐのびる「自分の木」になれるよう、じょうぶな「根っこ」を育みます。

### 2. 本年度、重点的に取り組む目標・計画

本年の年間行事計画と「ことば」「かず」「もじ」「描画」「体育」「音楽」「タブレット」の指導計画により、子どもたちの健やかな心と体、豊かな人間関係、環境を思いやる心、ことばの確立、豊かな表現力を育てます。新型コロナウイルス感染の防止、防火設備・防犯、交通安全の強化を図ります。

### 2. 評価項目の達成及び取組状況

| 評価項目                             | 取組状況  |
|----------------------------------|---|
| 本園の教育目標に基づき作成された指導計画の実施          | 指導計画に基づいて行った保育と子どもの実態に合わせて検証し、「plan・do・check」を繰り返しながら、教育と実務の充実を図った。   |
| 将来のこども園化を視野に、家庭と幼稚園の更なる連携と充実を図る  | 職員間での情報交換、保護者との対話を行いながら、全学年に対する共通理解を深め、長期的な見通しを持った保育を心がけた。  |
| 環境面から捉える子どもの生活の充実                | 未就園児の増加に伴い、自由遊び等を通じて異年齢児の交流を図り、パディとして思いやる心を育てるよう指導を心がけた。  |
| 保護者との共有（共感的アプローチ）と適正な情報伝達        | 保護者からの相談・意見の一つ一つに対して保護者の立場にたち丁寧・親切な対応に心がけ、園で起きた事故等に関しては迅速な開示と説明責任を果たすことに心がけた。   |
| 保育者の研修の充実                        | 多くの行事の実施等多忙は保育活動のなか、ナーサリ－研修等に参加した。ただ日中実施される研修は参加が難しいので今後対策が必要である。   |
| 防災・防犯、交通安全体制の確立( 新型コロナウイルス感染症対策) | 防災・防犯、交通等安全体制確立のため、避難訓練、行政と連携した防災訓練・交通安全教室を実施した。昨年からの新型コロナウイルス感染症対策を引続き実施したが、併せて他園でのバス園児降ろし忘れ事故を教訓にチェックリストの作成、職員への周知等防止対策を徹底した。 |

#### 4．学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

取り組む課題について教職員の共通認識を十分図ることが出来なかった。自己評価表により各自の課題・目標が明確になり、活動内容に全体の歩調を合わせることが出来た。また、バス送迎に関して安全を図るように、園内での周知、地域との連携を図ることが出来た。新型コロナウイルス感染症の対策に努めることが出来た。今後は、広報活動を積極的に行うことで園への認知度を高めたい。

#### 5．今後取り組むべき課題

| 課 題   | 具体的な取り組み方法  |
|---|---|
| 異年齢児の日常的交流の充実                                 | 異年齢児保育をより充実させるため、園児が日常的に触れ合える機会を増やすよう保育環境を整える。  |
| 危機管理(新型コロナウイルス感染症・防災・安全対策)<br>送迎バスにおける安全管理の徹底 | 新型コロナウイルス感染症対策として教室・バスなどの換気、消毒、手洗い・うがい、検温などを徹底し感染防止に努める。自然災害に対する防災マニュアルの整備と避難訓練、また交通安全にも地域の公的機関と連携して取り組む。 |
| 適正な事務処理と効率化                                   | 事務の適正化・効率化を図るため、ICT化をさらに進め事務作業の軽減及課程を含めた情報の共有化を図る。  |
| 未就園児の保育環境の充実                                  | 子育て支援に対する地域のニーズに応えるため、未就園児クラス、満3歳児クラスの拡充に努めるとともに、保育内容の一層の充実化を図る。  |

#### 6．学校関係者の評価

学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価の結果、本園の教職員は経験年数によりその共通認識・使命感に差があるが、教諭経験を積み重ねることによりその差は解消されるとみなされた。また安全面で地域の連携を図り、総合的な判定は妥当と認識された。

#### 7．財務状況

監事及び公認会計士監査により、適正な運営がされていると認められた。